

平成24年3月15日
於
府中市立教育センター

平成24年第3回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成24年第3回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成24年3月15日(木)
午後1時30分
閉 会 平成24年3月15日(木)
午後2時48分
- 2 会議録署名員
委 員 齋 藤 裕 吉
委 員 糸 満 純一郎
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 北 島 章 雄 委 員 齋 藤 裕 吉
教育長 糸 満 純一郎
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 高 橋 脩 二 文化スポーツ部長 齋 田 文 雄
教育部次長兼総務課長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部次長兼文化振興課長
教育部副参事兼指導室長 小 椋 孝 文化振興課長補佐 後 藤 廣 史
総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹 時 田 浩 一
月 岡 敏 浩 江 口 桂
学務保健課長 中 村 孝 一
学務保健課長補佐 市 川 直 次
給食担当副主幹 須 恵 正 之
指導室長補佐 桑 田 浩
指導室副主幹 新 藤 純 也
統括指導主事 金 子 真 吾
指導主事 小野満 賢
指導主事 山 本 勝 敏
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議 案

第12号議案

府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

第13号議案

府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

第14号議案

府中市立小中学校職員服務規程の一部を改正する規程

第4 報告・連絡

- (1) 就学时健康診断受診結果について
- (2) インフルエンザ様疾患の罹患状況について
- (3) 平成24年度府中市学校給食会事業計画及び給食費会計予算について
- (4) 府中少年少女合唱団第29回定期演奏会について
- (5) 市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存と活用について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成24年第3回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、齋藤委員と糸満委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日、傍聴希望の方がいらっしゃいます。許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、よろしくをお願いいたします。

_____ ◇ _____

◎第12号議案 府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

◎第13号議案 府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

○委員長（久芳美恵子君） それでは議案の審議に入ります。第12号議案・第13号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） それではただいま議題となりました、第12号議案「府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則」及び第13号議案「府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程」について、お手元の資料に基づきご説明いたします。

まず第12号議案の新旧対照表をご覧ください。第2条は、各部、課、室、係及びセンターの事務分掌を定めるものでございますが、学務保健課の「学務係」に規定されてございます「学校給食の管理指導に関すること。」を「給食センター」の事務分掌に規定し直すものでございます。

次に、第13号議案の新旧対照表をご覧ください。別表第2は、各職務権限の決定責任者を定める表でございまして、「学務係」の表に規定されております第54項「食品衛生検査を委託すること」ほか3項の職務を「給食センター」の表に規定し直すものでございます。

学校給食に関連する事業につきましては、平成17年4月に組織改正に伴い、「給食センター」に所管が変更されてございましたが、例規上の規定が改正されていないものがございましたので、今回、改正させていただくものでございます。

最後に付則といたしまして、これらの規則・規程は平成24年4月1日から施行させていただきたいと考えております。

説明は以上でございます。どうぞよろしく御審議くださいますようお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。第12号議案及び第13号議案、いずれも事務局の組織規則の一部改正と職務権限規程の一部改正ということで、給食センターに絡むものでございます。今、ご説明がございましたが、何かご質問はございますでしょうか。ご意見

等がございますか。特にございませんようです。

先ほどのご説明にもありましたように、平成17年に大もとでの変更がなされていたということでございます。

それではお諮りいたします。第12号議案、府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則及び第13号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程について、決定することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

全員異議なしでございます。原案どおり決定いたします。よろしく願いいたします。



◎第14号議案 府中市立小中学校職員服務規程の一部を改正する規程

○委員長(久芳美恵子君) それでは次に、第14号議案の朗読をお願いいたします。

(事務局朗読)

○委員長(久芳美恵子君) 説明をお願いいたします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹(月岡敏浩君) ただいま議題となりました第14号議案「府中市立小中学校職員服務規程の一部を改正する規程」について、お手元の資料に基づきご説明いたします。

まず第8条の2の「セクシュアル・ハラスメントの禁止」の規定でございますが、「職員は、他の職員又はその職務に従事する際に接する職員以外の者を不快にさせる性的な言動を行ってはならない。」の1条を加えます。これは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」(いわゆる男女雇用機会均等法)の規定の趣旨に従い、市立学校職場における性的な言動に起因する問題に関して、適正な職場管理が確保されるように、東京都教育委員会等の例規を参考に規定するものでございます。

次に、第8条の3の「利害関係があるものとの接触規制」の規定でございますが、「職員は、上司が承認した場合を除き、いかなる理由においても、自らの職務に利害関係があるもの又は自らの地位等の客観的な事情から事実上影響力を及ぼし得ると考えられる他の職員の職務に利害関係があるものから金品を受領し、又は利益若しくは便宜の供与を受ける行為その他職務遂行の公正さに対する市民の信頼を損なうおそれのある行為をしてはならない。」の1条を加えます。これは国家公務員倫理法の規定に準じて、市立学校職場における倫理を保持し、職務の公正さに対する市民の不審を招く行為の防止を図ることを目的に、東京都教育委員会等の例規を参考に規定するものでございます。

最後に付則といたしまして、この規程は平成24年4月1日から施行したいと考えております。

説明は以上でございます。どうぞよろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。ただいま第14号議案の説明がございました。何かご質問はございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員(齋藤裕吉君) 2件とも極めて当然のことだと思いますけれども、東京都の方の例規を参考にとというお話でしたけれども、東京都の例規というのはいつごろに規定されたものなのですか。ちょっと私の方、承知していないものですから、教えていただければと思います。

○委員長(久芳美恵子君) いかがでしょうか。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） こちら、男女雇用機会均等法の改定を受けまして改正するものでございますが、服務規程の見直しに係る、当時、文部省でございますが、通知が平成11年にございまして、その際、東京都や他の市町村については順次改正がございまして、当市においてはまだ改正をそのときにしてございませんでしたので、ここで提案させていただきたいということでございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしゅうございましょうか。

○委員（齋藤裕吉君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） 確認でございますが、これは府中市立小中学校職員服務規程でございますので、これは教員も含む職員ということでよろしいのでしょうか。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） さようでございます。学校に勤務する教職員ということでございます。

○委員長（久芳美恵子君） これは規程とは直接関係はありませんが、セクシュアル・ハラスメントの禁止という括弧書きがございまして、今、セクシュアル・ハラスメントと、もう一つ、パワー・ハラスメントというものがございまして、そのパワー・ハラスメントに関するこのような規定というのは本市にあるのかどうか。ない場合は、都にはそういうものがあるのかどうか、参考までにお聞かせくださいませんか。

○教育部副参事兼指導室長（小椋 孝君） 私の知る限りで申しわけございませませんが、都の方の職員規程につきましても、このセクシュアル・ハラスメントと利害関係のところだったかと記憶しております。パワー・ハラスメントの方は、なかなか最近出てきたところで、表現が難しいところがございますが、ただ、実際の指導場面におきましては、服務事故の防止のことにつきまして、特にセクシュアル・ハラスメントに加えまして、今年度はパワー・ハラスメントとか、そういうところもかなり強調して行っているところでございます。また、この利害関係等の接触規程も同じように、都の服務事故防止強調月間の課題として取り上げているところでございますので、条文化はされておきませんが、同じように扱っているものと解釈していただいて構わないかと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。いろいろ新しく次から次へと出てくるものですから、即対応というわけにはいかないと思いますが、今、お答えいただいたように、パワー・ハラスメントの部分もある種、組み込んだ形で対応を図っていくということでございます。

いかがでございましょうか。何かご質問、よろしいでしょうか。

では、お諮りいたします。第14号議案、府中市立小中学校職員服務規程の一部を改正する規程について、決定することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

全員異議なしでございます。原案どおり決定いたします。よろしくどうぞお願いいたします。それでは、議案は以上でございます。



◎就学時健康診断受診結果について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡に移ります。

報告・連絡（1）につきまして、学務保健課、お願いいたします。

○学務保健課長補佐（市川直次君） 資料1をご覧ください。平成24年度就学予定者の就学時健康診断結果についてご説明申し上げます。

対象者は、男子1,108名、女子1,051名、合計2,159名で、受診者は男子1,071名、女子1,018名、合計2,089名、男女合計での受診率は96.8%となっております。

未受診者は70名おります。未受診者の理由といたしましては、私立学校入学28名、インターナショナルスクール入学3名、就学相談17名、市外、国外転居12名、不明7名となっております。また、その他といたしましては、今後受診するや、入院治療のためなどが3名おります。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。平成24年4月、この4月に就学を予定する子どもたちの就学時健診の結果でございます。いかがでございましょうか。はい、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） この就学予定の方々に、はしか、MRワクチン、どれぐらい接種されたか、調査されましたでしょうか。もし数字が出ていたら教えていただきたいのですけれども。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○学務保健課長補佐（市川直次君） 申しわけございません、MRワクチン接種率につきましては、ちょっと把握しておりません。

○委員（崎山 弘君） これからも、またはしかに関してはいろいろ言われるわけですが、今、この就学予定者の方は3月31日までが無料期間なのです。4月1日になると、春休み中でも有料になってしまうのです。そうすると、有料になると明らかに1万円以上かかるので、1万円かかるのだったら躊躇する、もっと早く言ってくれればやったのにと人が出てくるような気がします。ですから、今からだったらまだ2週間ありますので、4月になると1万円以上かかることが予想されますということ添えて、もう一度だけ勧奨していただけるとありがたいと思います。

○学務保健課長補佐（市川直次君） わかりました。そのように勧奨いたしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしくお願いいたします。子どものためにも、また家計のためにも、その方がよろしいかと存じます。

ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。

今年が2,159名、平成22年度から見ると、約300名弱、280名ですか、子どもの受診対象者が減っておりますが、これは他市でも同じ状況でしょうか。

○学務保健課長補佐（市川直次君） 府中市における児童の就学推移でございますが、ここ何年か先でございますが、ちょっと減少傾向にあります。他市につきましては、ちょっと調査はしておりませんので、また調査して、わかりましたら、そのとき報告したいと思います。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 大体、子どもの人口の推移を見て、学校の校舎をどうするかということも考えなければいけないと思いますが、ありがとうございます。

それでは、ご質問、ご意見よろしゅうございましょうか。

それでは、報告・連絡（１）就学時健康診断受診結果について了承いたします。ありがとうございました。



◎インフルエンザ様疾患の罹患状況について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（２）でございます。同じく学務保健課、お願いいたします。

○学務保健課長補佐（市川直次君） インフルエンザ様疾患の罹患状況についてご説明いたします。資料２をご覧ください。

インフルエンザ様疾患の本年度の状況でございますが、本年度の学級閉鎖は１月２０日から始まり、３月９日の報告まで小学校１９校、９５学級、中学校では４校、１４学級の、合計１０９学級で学級閉鎖がございました。

学年閉鎖は、幼稚園で２園、４学年、小学校で５校、５学年、学級数としては１９学級でございます。

罹患状況は、１月が４８７名、２月が８２７名、３月は２１９名の、合計１，５３３名が、インフルエンザ様疾患に罹患いたしました。

昨年の学級閉鎖数は１２２学級、学年閉鎖１学年、罹患者数が１，７３５名でございました。３月に入り、罹患者数は若干減少傾向にございますが、学校からの報告によりますと、Ｂ型インフルエンザが増えている傾向にございます。まだまだ学級閉鎖の報告がございましたので、引き続き手洗いやうがいなどの励行を各学校に指導してまいりたいと思います。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

Ｂ型が増えているのは、Ａ型が主流であるけれども、Ｂ型も増えているという、そういうことでございますか。

○学務保健課長補佐（市川直次君） ２月までは、報告によりますとＡ型が主だったのですが、３月に入り、学校からの報告によりますと、Ｂ型のインフルエンザで学級閉鎖が増えているという傾向があるという報告を伺っております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。何かご質問なりご意見ございませんか。崎山委員いかがですか。

○委員（崎山 弘君） 東京都全体と同じ傾向で、初めＡからスタートして、Ａが終息に向かうところでＢが出る、これは大体いつも毎年同じようなパターンでございます。

○委員長（久芳美恵子君） 今年はかなり、寒くなったり暑くなったり、体調を崩すような気候でございましたけれども、恐らく罹患率も、先ほどの報告によると、昨年度とあまり変わらない状況になっているようでございます。

ほかにもございますでしょうか。

それでは、報告・連絡（２）インフルエンザ様疾患の罹患状況について了承いたします。ありがとうございます。また今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



◎平成24年度府中市学校給食会事業計画及び給食費会計予算について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（3）でございます。同じく学務保健課、お願いいたします。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 資料3、平成24年度府中市学校給食会事業計画及び給食費会計予算について御説明いたします。

1ページをご覧ください。1の概要でございます。府中市学校給食会では、「安全でおいしい学校給食の提供」を目標にしています。食材の選定では、安全、安心を基本とし、産地等の公表と放射性物質の検査を継続してまいります。また、生産者の顔が見える府中産野菜の積極的な活用にも努めてまいります。

調理では、素材から手づくりに努めるとともに、衛生面など環境整備を進めてまいります。

献立では、安全かつ安心な食材選定や手づくり調理のもと、栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めてまいります。

学校給食は、教育面からも大切な役割を担っています。そのため、学校給食の運営に当たりましては、学校や保護者、地域の皆様と連携を図るとともに、栄養教諭、栄養士や調理員による授業、試食会などへの参画、給食時間における児童・生徒への巡回指導など、給食を「生きた教材」として活用する中で、食教育の推進に努めてまいります。

次に、2は給食費でございます。保護者の皆様にご負担いただいております給食費につきましては、全額、食材料の購入に充てておりますが、購入に当たっては、安全で良質、そしてできる限り廉価な物資を厳選してまいります。

なお、給食費月額につきましては、記載のとおりでございます。

2ページをご覧ください。食材料の購入につきましては、市からの牛乳代と調味料の補助金が交付されておりました。平成24年度は、牛乳代補助は1本11円、また、調味料の補助としては、給食費月額の2.1%以内が交付される予定でございます。なお、予算要望額で見ますと、市よりの補助額は約4,906万5,000円となっております。

次に、3は給食実施計画でございます。学校数、年間の給食回数は、小学校、中学校ともに前年同様でございます。ただし、中学校につきましては、2学期の給食開始日が早まるため、8月30日から給食を提供します。給食センターの稼働日数につきましても、前年同様でございます。

次に、4は衛生管理、栄養技術研修計画でございます。栄養士、調理員について、記載のとおり研修を計画しております。また、このほかにも、さまざまな研修もございますので、できるだけ多く参加してまいりたいと考えております。これらの研修を通じて、より一層の職員資質の向上に努めてまいります。

3ページをご覧ください。5は衛生管理実施計画でございます。毎月2回実施している腸内細菌検査を初めとする各種検査、調査を実施する中で、衛生管理を徹底し、事故防止を図ってまいります。また、食材の放射性物質の検査につきましても、使用する食材が変わる学期ごとに実施する委託検査を中心に行っていく予定でございます。

次に、6は施設及び設備の整備計画でございます。経年劣化の著しい調理場の整備を行うとともに、能率向上のための調理機器を設置し、給食センターの維持に努めてまいります。主な委託、調理機器の購入関係は、記載のとおりでございます。

以上が、平成24年度の学校給食の事業計画でございます。

続きまして、平成24年度府中市学校給食会給食費会計予算につきましてご説明いたします。4ページをご覧ください。歳入歳出予算の科目、説明区分につきましては、前年同様でございます。

内容につきましては、事業計画2の給食費にあります数値を算出根拠といたしまして、歳入は主に保護者から徴収させていただきます給食費、市からの補助金、歳出は食材料費でございます。

予算合計額は8億9,294万8,000円で、前年度比639万9,000円、0.7%の減でございます。

また、本事業計画及び予算につきましては、3月9日に府中市学校給食会理事会を開催いたしましてご審議いただき、ご了承いただいておりますことも、あわせてご報告させていただきます。今後、保護者に対しましてもお知らせをまいります。

以上で報告を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。平成24年度の学校給食会の事業、そして予算会計等もご説明いただきました。まず最初にご質問をお願いいたします。はい、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） まず概要の中で、栄養教諭、それから栄養士や調理員による授業云々という説明があるわけですが、この栄養教諭という職種ですね。比較的最近の設置であるわけですが、その配置の実態と、それから今後の見通しというのでしょうか、計画、これにつきまして、本市と、それからわかれば都の状況などについても教えていただければありがたいと思いますが、どうでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） お願いいたします。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 栄養教諭は、学校給食法等の一部を改正する法律の施行により、学校における食育推進の中核的な役割を担うものとして、栄養教諭制度が平成17年度から配置が開始されております。東京都では平成20年度から配置が開始されまして、本市には平成22年度に配置されまして、在籍といたしましては、南町小学校と、あと第一給食センターのほうの配置という形になっております。

あと、栄養教諭の配置状況でございますけれども、平成23年4月現在でございますけれども、東京都では36人、全国的に見て、その当時に大阪府で442人の配置となっておりますので、東京都の配置状況としては、配置が遅れているというのが現状になっております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） ありがとうございます。今後の計画というのでしょうか、見通しというものがあれば、それもあわせて教えていただければと思うのですが、どうでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○教育部副参事兼指導室長（小椋孝君） 栄養教諭の配置の件で、私が都から聞いている範疇でお答えをさせていただきます。東京都の配置は各学校単位の配置というより、広域で地域に配置ということで、例えばうちでしたら、府中市で置く、そのような形で置きまして、都立学校におきましても、たしか東京都教育委員会、もしくは学校支援センターのほうへ配置をし

ている状況でございます。今、副主幹の方からお話があったとおり、先進のところではかなり配置をしているところですが、東京都の配置は二、三年前に、やはり47都道府県で下から数えて5番目に入るぐらいの配置数だったと思いますが、広く配置する中で、まず核となる人に働いていただいているということでございますので、本市においてもその趣旨を踏まえて、給食センターに置いて、全体の指導にかかわっていただいていると。ですから、全国的に見た東京都の配置数はかなり低い。あと、今後もその配置数、まず各市町村に1人ではないですが、一定数、たしか各市町村1人というよりも、何人に1人という基準があって、今、配置を進めているように聞いておりますので、この状況は数年変わらないのではないかと考えております。

○委員（齋藤裕吉君） ありがとうございます。食育の重要性というのが特に最近、強く言われておるところですので、その辺のことを踏まえておきたいなと思ってお聞きしました。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。ほかにいかがでございましょうか。

では、私から1点、これは確認になると思いますが、給食費の会計のところでございます。前年よりも0.7%の減、639万9,000円ですか。この減というのは児童・生徒の減少に伴うものが主なものなのでしょうか。

○給食担当副主幹（須恵正之君） この減額の主な理由といたしましては、小学校の児童数の減、平成23年度と比べますと241名の減になっております。あと補助金のほうで、全庁的な補助金の見直しによりまして、調味料補助金が2.2%から2.1%に下がっているということが要因になっております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

ほかにいかがでございましょうか。

○委員（齋藤裕吉君） 今の予算関係のところ、会計の関係のところですね。未納問題というのがこの間ずっと続いていると思うのですけれども、そしてまた、事務局の皆さんには大変なご努力をいただいているところだと思うのですけれども、その辺の改善の状況というのでしょうか、ざっとで結構なのですか、いかがでしょうか。まったく変わらないのか、悪化しているのか、それともご努力いただいでいて、少しずつ改善が進んできているのかどうかです。いかがでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） お願いいたします。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 平成22年度の未納の状況といたしましては、決算時で761万4,905円ということで、収納率は99.0%でございました。前年の平成21年度と比較いたしますと、194万8,415円の減ということで、未納額は減った状況でございます。

最近の未納対策といたしましては、平成21年度から未納者を対象に、納付書等がなくても給食会の理事長口座への直接の振り込みができるようにいたしまして、平成22年度からは子ども手当の支給が始まりましたので、それに合わせて給食費の引き落としの口座を子ども手当の口座と同じくしていただくお願いや、支給に合わせて学務保健課全員で電話の督促なども行いました。また、教育部管理職を含む職員による臨戸徴収と、あと再任用の徴収員が1名おりますので、その者の戸別徴収ということで、その辺が成果を上げたものと思っております。また平成23年度からは、ゆうちょ銀行での口座引き落としも開始いたしまして、未納の対策

を行っているところでございます。

以上です。

○委員(齋藤裕吉君) その点については、言うまでもないことですが、給食費を払った、払わないという問題のみならず、やはり子どもたちの教育をどうするのだろうと、どうするのかということを保護者と一緒に考えていくという姿勢で、やはり大変なことだと思えますけれども、また今後、可能な形で働きかけをしていただくことが、とても大事なことなのかなと思っております。よろしく願いいたします。

○委員長(久芳美恵子君) 本当に関係の職員の方には、休日も返上して臨戸徴収に行っていたということ、本当に申しわけなく思っております。早くこれが解消できるとよろしいと思うのですが、ほかにいかがでございましょうか。はい、お願いします。

○委員(崎山 弘君) 衛生管理のところについて一つお伺いします。サルモネラ菌などの検査が月2回実施されているということですが、この手の菌は健康保菌者といって、症状はないけれども、菌を持っているという人が存在するので、月2回、こういう方を検査しても意味があるのですが、最近、食中毒を集団で起こすノロウイルス、アデノウイルスなどは、学校給食には少ないかもしれませんが、検出されているわけで、こういう病原体に対しては、症状があるときになってからでないといけないということなので、現在、例えばこの調理員などが、きょう実は下痢をした、きのう嘔吐があったなどという訴えがあった場合に、そういう場合はどうされているのですか。仕事を休むようという指示なのですか。それとも何か病院へ行けという指示になっているのか。ちょっと、こことは外れるかもしれませんが、お伺いしたいのですが。

○委員長(久芳美恵子君) よろしくお願いします。

○給食担当副主幹(須恵正之君) 毎日、調理員、栄養士、事務員も含めてなのですが、健康管理の届け出をしております、体調が悪い場合には休むようにということで、調理場内には入らないようにという形で対応しております。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。このようにして関係の皆さんが気を配っているわけでございます。本当にありがたいことでございます。

ほかに給食に関連することでございますでしょうか。

○委員(齋藤裕吉君) ではもう一つ、5番目の衛生管理の実施計画の中の(8)のところの食材の放射性物質検査(学期毎)というところでございますけれども、いろいろと検討した上でこのような計画を立てたはずなわけですが、市民の皆さんの声とか、あるいは保護者の方々の声とか、今、放射性物質の問題については大変敏感な反応というのでしょうか、受けとめ、問題があると思うのですが、この点に関して何か特徴的な声というようなものというは入っておりますでしょうか。

○委員長(久芳美恵子君) はい、お願いします。

○給食担当副主幹(須恵正之君) やはり声といたしましては、都道府県の検査だけではなくて、市でも独自で検査をやってもらいたいという意見が、やはり多いと思います。昨年5月と今年1月に独自での検査をやらせていただきまして、公表しておりますけれども、平成24年度につきましても、検査機関への委託とあわせまして、簡易測定器での検査も実施いたします。それと、東京都がモニタリング事業を平成24年度から始めますので、それにつきましても参

加できるような体制をとっていきたいと思っております。

以上です。

○委員(齋藤裕吉君) わかりました。ぜひ公表という点ですね。こういう状態であるという、皆さんにお知らせしていくということがとても大事なことだろうと思っておりますので、また引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長(久芳美恵子君) 今のところの関連ですが、モニタリングの企画に加わると、大体それが、インターバルは少し短くなるのでしょうか。学期ごとということではなく、2カ月に1回とか、その辺はどうなのでしょう。

○給食担当副主幹(須恵正之君) まだ東京都の方も、今、各区市町村の意見を聞いている状況で、詳細はまだ決定されていないところではありますけれども、説明によりますと、年3回ぐらい、各施設4検体ぐらいを実施していきたいと、今のところ東京都のほうからは話が、説明会であったところがございます。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。東北に関連する、その県と比べれば、都の場合には、そういう放射性物質に関してはそんなに敏感になる必要はないと思いますが、先ほども齋藤委員がおっしゃったように、数値を聞かれてから言うのではなくて、積極的に公表していくということが、市民の方々の安心を持っていただくことになると思っておりますので、ぜひ、今までもそうしていただいたと思っておりますが、よろしくお願ひいたします。

学校給食会の事業計画について、ほかに何かございますでしょうか。はい、お願ひします。

○委員(崎山 弘君) 今のその放射性物質の数値の公表に関してなのですが、数値を読める人が読まない、実は危険なのです。特に放射能というのは、例えば温度だと、例えば体温というのは、自分は36度5分、何度はかっても36度5分なのですけれども、放射能というのは3とか5とか4とかが時間的に経時変化するのです。その平均値を出しているのです。それがある程度、長時間、特に低い値であればあるほど、長時間はからないと平均値が出せないのです。そういう状況の中、どういう時間帯ではかってどういう数値が出たのだというところを読めなければ、変な数字を出してしまうと、その数字がひとり歩きをするので、ちょっとそれは難しい点があると思っております。数字を出せばいいというものではないので、ちゃんと読める人が解釈をつけて出すぐらいのことをやらないと、誤解を招くおそれがあるので、非常にこれは要注意だと思います。

○委員長(久芳美恵子君) ということでございますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

ほかに何かご質問ございますでしょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは、報告・連絡(3)平成24年度府中市学校給食会事業計画及び給食費会計予算について了承いたします。本当によろしくお願ひいたします。



◎府中少年少女合唱団第29回定期演奏会について

○委員長(久芳美恵子君) 次に、報告・連絡(4)でございます。文化振興課、お願ひいたします。

○文化振興課長補佐(時田浩一君) それでは、府中少年少女合唱団第29回定期演奏会につきましてご報告いたします。お手元の資料4をご覧ください。

府中少年少女合唱団は、市が育成している音楽団体の一つで、学区や学年を超えた仲間との

活動を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に、昭和57年に発足した歴史のある団体です。

定期演奏会の開催は3月31日（土）午後2時30分に開演、会場は府中の森芸術劇場ふるさとホールでございます。

今年の定期演奏会は、東日本大震災から1年が経過する中で、一日も早い復興を願う力強い歌声を披露するために、合唱団のピアニストでもあります小原孝氏が作詞をいたしました「願い〜震災を乗り越えて〜」を小原氏の伴奏で披露いたします。小原氏は、NHKテレビ等にも出演し、活躍をされているピアニストでございますが、この曲は被災地のコンサート等でも歌われ、好評をいただいているもので、合唱団の子どもたちも例年に増して練習に取り組んでまいりました。演奏会では、そのほかにもミュージカル「美女と野獣」や合唱組曲等、バリエーション豊かなラインナップをご用意しております。

委員の皆様には、日ごろの練習の成果をご覧いただきたく、ご案内を申し上げます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。府中少女少女合唱団の第29回定期演奏会のお知らせでございます。3月31日の午後でございます。こちらは各学校には、当然、周知していただいているわけでございますね。

○文化振興課長補佐（時田浩一君） はい。各学校にチラシとポスターを配布いたしまして、周知しておるところでございます。

○委員長（久芳美恵子君） 演奏会について、何かご質問なりご意見はございますでしょうか。

特にございませんようでしたら、報告・連絡（4）府中少女少女合唱団第29回定期演奏会、了承いたします。多くの子どもたちだけでなく、保護者の方や市民の方が来ていただけるとよいかと思います。よろしくどうぞお願いいたします。



◎市史跡 旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存と活用について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（5）です。ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） それでは、報告（5）市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存と活用につきましてご報告いたします。お手元のA3判、三つ折りの資料をご覧ください。この資料は、現地に設置しております解説板を縮小したものでございます。

掩体壕とは、太平洋戦争末期、戦闘機を空襲から守るための格納施設のことで、旧陸軍調布飛行場周辺には、昭和19年6月から9月にかけて60基ほどの掩体壕がつくられたと言われております。終戦後、その多くは取り壊され、現在、三鷹市の都立武蔵野の森公園内に2基、府中市内に2基の計4基の掩体壕が残るのみで、そのうち1基がこの白糸台掩体壕でございます。

市では、平成18年の平和都市宣言20周年を機に、白糸台掩体壕の保存を決定し、保存整備事業に取り組んでまいりました。このたび保存整備の竣工を記念して、式典及び内覧会を開催いたします。日時は3月27日（火）午後2時から、場所は白糸台掩体壕、現地です。この日のみ特別に、ふだん中に入ることができない掩体壕内部の見学も行います。ただし、この日以降は中には入れません。

終戦から長い年月が経過し、戦争の記憶が風化していく中、戦争の悲惨さや平和のとうとさを次の世代へ継承していくために、一昨日の校長会でご報告させていただきましたが、市内隣接の白糸台小学校をはじめといたしまして、各学校の先生方や児童・生徒の皆様に見学いただきたいと考えております。

なお、4月14日（土）には、地元市民団体主催の見学会も開催される予定でございます。今後も積極的な活用に向けてまいりたいと考えております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存と活用についてのご説明でございました。いかがでございましょうか。ご質問等ございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） 府中市内に2基あるというお話ですけれども、もう1基というのはどこなのでしょう。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） 同じ元所有者の方がお持ちの場所で、白糸台小学校のすぐ近くでございますが、そちらは今の所有者の方がお使いになっていらっしゃるようで、そちらは非公開でございます。ただし、今の白糸台掩体壕同様に、非常にいい状態で保存していただいている状況でございます。

以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） そうしますと、2基ともその土地は私有地であるということですか。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） もとは同じ所有者の方が所有しておりまして、そのうち1基の、この白糸台掩体壕を平成20年に市が買収させていただきまして、現在は市有地でございます。

○委員（齋藤裕吉君） もう一つ。この公開日以外は自由な見学ができないということなのでしょう。ちょっと先ほどの説明ではそんなように聞き取ってしまったのですけれども、活用の仕方ですが。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） 申しわけございません。掩体壕の戦闘機が入っていた中は、鉄筋が非常にさびておりまして、ちょっと危険なために、ふだんは中に入れられない状態になっておりまして、ただし、柵越しで中をのぞけるような形、それから中を、できましたらパッシングライトのような形で光るような状態にして、中はふだんも見る事ができる状態にはなりますので。ただ、常時中には危険があつて入れないという状況を説明させていただきました。ふだんは中をのぞいて見ることはできますので、十分実感はしていただけるものと存じます。

○委員長（久芳美恵子君） 中は特に何かの施設設備があるということではなく、飛行機がそこに入っていたわけですから、何というのでしょうか、グラウンドですね。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） 実際に発掘調査で下を掘りましたところ、かなり今の埋まっている面から下に、実際に戦闘機のタイヤの痕跡が固く締まって出てまいりました。つまり、それによって実際に戦闘機が入っていたことがわかつて思います。あと、その前の誘導路から、真つすぐ戦闘機が来るときの道の跡も出てまいりまして、ただし、そういったものは今後保護をするために、今は埋め戻しをしまして、実際、中に入ると、その天井の部分が実

際に見られるような形で、保護をして整備させてもらっています。

○委員長(久芳美恵子君) わかりました。このチラシの右上のところは、その掩体壕だけではなく、誘導路もすべて記入してございますけれども、この辺のところもわかっている範囲でのものであって、今は、それはほとんど保存のために埋められているということですね。

○ふるさと文化財課長補佐(江口 桂君) はい。

○委員長(久芳美恵子君) ほかに何かございますでしょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは、報告・連絡(5)市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存と活用について了承いたします。よろしくどうぞお願いいたします。

その他でございますが、何かございますでしょうか。

特にないようですので、教育委員報告に移ります。



◎教育委員報告

○委員長(久芳美恵子君) 教育委員報告をお願いいたします。

○委員(北島章雄君) 北島より報告させていただきます。

2月20日、21日と、教育行政視察ということで京都市立久世中学校、そして「京都まなびの街生き方探究館」というところに参りました。

久世中学校は、コミュニティスクール及び小・中一貫教育についてお話を受けてきたわけなのですが、その久世中学校の校長先生が、その中学校についてはとても荒れていて、また、保護者とか地域の方々が学校にあまり協力的ではないと。そしてPTA会長を選任するのも、地域の中から、役をやっていないからあなたが行きなさいというような状況もあったそうです。それが今は、地域の中の学校ということで改善し、最初はそういう連携も取れていなかったのですけれども、生徒の交流とか、それから地域の先生方の交流を通して改善されてきたというお話をお聞きしました。小学校の先生と、それから中学校の先生も交流を持ち、また、中学1年生が学区の保育園に行ってお手伝いをするとか、それから中学校2年生が小学校1年生と一緒に遊んだり、そのような交流を持ち、とても関係性がよくなってきたということのお話をお聞きしました。また、その同じ学区小学校同士が合同宿泊学習の場を持ち、中学校に上がる前に、同じ学区の小学校が小学校同士で日にちを決めてそのような活動をしているということで、とてもそれはいいなと思いました。また、その小学校の交流をすることによって、小学校の校長先生が、1年生から6年生だけではなくて、中学校の3年を交えた9年間の教育が必要だということを感じたということをお話しておりました。とてもその小・中一貫、ましてや、また小学校に上がる前の保育園、また幼稚園のことを見据えた教育環境というのですか、それは非常にいいなと。府中市もそれに見習ってできればなという感じを受けた次第です。

また「京都まなびの街生き方探究館」では、古い学校の校舎を使った建物で、その中で地下1階と地上1階がものづくり工房、そして地上2階が「ファイナンスパーク」、そして3階が「スチューデントシティ」と、とても変化に富んだ昔の教室を活用されておりまして、京都市の企業体がとても応援なさっておりまして、とてもすばらしいなと。生徒が学ぶに当たっても、こんなすばらしいところがあると、本当に行かせたいなというような気もするのですが、ただただ、これをやるには非常なお金と予算が必要になってきて、府中市では無理かなという考えを持ちました。それを公が建てるのも、やはりいろいろ有意義な行政視察であり、今後の教育

委員会活動に生かしたいなと思いました。

2月29日、教育委員会表彰式に出席いたしました。表彰をいただいた生徒たちはとてもよい記念になったのではないかなと思いました。府中第五中学校の中村校長先生が、みんな表彰を受けた方々に、日ごろの努力の成果をたたえた賞ですと。そして活躍された方々は、皆さんは、三つの大切な意味がありますよとおっしゃっております。一つは尽くす活動、そして皆さんが続けたからという続けた活動、そして皆さんの活動はつながるといふ三つの話をされておりました。そして表彰された方を代表し、府中第九中学校の高橋さんが、これからもこの経験を生かし、さまざまなことに挑戦していくというごあいさつをされておりました。

以上です。

○委員(崎山 弘君) では、崎山から報告いたします。

2月20日、21日に実施された教育行政視察について報告します。

今回の視察の目的は、コミュニティスクール、小・中一貫教育及びキャリア教育に関して、先進的あるいは実践的な取り組みをしているところを訪問して、府中市の現状と比較検討し、府中の学校教育の充実を図ることです。私は、ここで京都市の公立小・中学校が実施しているキャリア教育について報告いたします。

訪問先は、先ほど北島委員も言っていました、「京都まなびの街生き方探究館」というところで、中学校の統廃合によって廃止された中学校を改築して、京都市教育委員会、京都市内の協賛企業、ボランティアが協働して管理、運営している施設です。任天堂、堀場製作所、オムロン、村田機械、ワコールなど日本のトップメーカーが協賛してブースを設置して、ものづくりについて小・中学生が実際に体験したり学習したりできるフロアがありました。府中にも東芝などの企業はありますが、やはり本社が市内にあるという強みは大きいと思います。この点に関しては、まねできるものではないと感じました。

私がおもしろいと感じたのは、別のフロアの「ファイナンスパーク」です。ここは施設の中に再現したまち、商店街で、税金・保険を初め、食費や水光熱費、住宅費、遊興費など、さまざまな食品やサービスの購入・契約を模擬体験するものです。参加する中学生は、あらかじめ家族構成と年収が記載されたカードが渡されて、その家族に必要なもの、欲しいものを選び、年収の中でおさめるようなシミュレーションをするものです。

現在、府中で行われているキャリア教育は、その主体が職場体験であり、仕事、職業に触れることから、収入を得ることの大変さを少しは感じ取ることができるでしょう。しかし、お金の大切さは、得ることと使うことの両方を知らなければ理解できない面もあると感じました。

この「京都まなびの街生き方探究館」では、シミュレーションといっても、銀行、コンビニ、自動車会社、不動産会社、百貨店などの協賛企業が実際にブースを出しており、より現実味がある形にはなっていますが、実際の商品はパソコン上で購入する形をとっています。このような施設を府中市につくることは無理ですが、お金の使い方のシミュレーションをキャリア教育に取り入れることは十分可能であり、職場体験の意義をさらに充実させる可能性を感じました。

以上です。

○委員(糸満純一郎君) それでは、糸満から報告させていただきます。

ちょっと花粉症なものですから、マスクのまま失礼いたします。

2月17日、府中第五小学校の研究発表会、OJT、オン・ザ・ジョブ・トレーニングの研

究発表会がございまして、府中市内はもちろんですが、半数ぐらいは他市、他府県の方、あるいは国・都の方ということで、学校、教育現場でOJTってどうするのかなど、私も大変関心があったのですが、いろいろ創意工夫の中で、初年度、そして2年度ということで取り組んだ発表がございまして、大変充実した発表だったかなと思っております。

2月20日、21日、これは私も教育行政視察に参加させていただきまして、両委員さんからご報告があったとおり、なかなか充実した、さすがは先進市京都だなという思いがいたしました。府中市が取り入れられる部分、そのままそっくりは取り入れられませんけれども、いいところを何とか府中市にも導入していきたいなと感じた次第でございます。

それから2月27日ですが、昨日、内覧会があったかと思うのですが、熊野神社古墳の石室、27日に下見をさせていただいておりまして、同じ原寸大といいますか、石室ができ上がっておりまして、先ほどの掩体壕ともども、何とか府中の子どもたち、こういったものを使って勉強していただければいいなということで、大変すばらしい施設ができ上がったので、喜んでおります。

それから3月1日から、本年第1回の定例市議会が、現在も開催をされております。3月2日と5日には一般質問がございました。それから3月7日、文教委員会が開催されまして、美術館条例の一部改正、それから学校耐震改修工事の議案が、府中第三小学校など合計5件の議案がかりまして、明日の本会議で委員会報告がされる予定でございます。

私からは以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） それでは、齋藤のほうから報告をさせていただきます。

2月17日、金曜日ですけども、府中第五小学校の研究発表会ということで、ただいまお話もありましたけれども、私も参加をさせていただきました。学校におけるOJTを活用した人材育成ということで、このようなテーマの研究発表というのはあまりない、数少ないものだと思いますけれども、しかし、教職員も現在、新旧の交代というのが非常に急速に進んでおりますし、そういう中で若手教諭の育成ということと、それから時代の変化も大変早い、激しい中で、ベテランと言われる先生たちのさらなる能力の向上ということが、本市においてはもちろんのこと、全国的にも求められている、そういう課題であるわけでありまして、そういうこともあってだと思っておりますけれども、他県からの参加者も大変多かったと。二十数県からの参加者があったということですね。発表内容としては、一生懸命に人材育成を進めているという様子が非常によくまとめられた発表になっていたなと思っております。講演でもFC東京の社長さんのお話、このOJTのテーマにぴったり沿ったものだったと思っております。

それから2月20日から、私も同じように京都市の学校等の施設の視察をさせていただきました。私の方からは、特に久世中学校でコミュニティスクールとしての活動、どのような状態であるかというようなことで、特に興味がありましたのは、人事に対する発言の実態ですね。これがどうなっているかなと思ひまして、質問したわけなのですが、この学校運営協議会の中での教職員の人事に対する発言、これについては、京都市の場合は必ず校長を通して市教委に伝わるという形になっているということでありまして、これまで特にそういう点について問題が生じたということはないというお話でございました。いろいろ意見は出ているのかもしれないけれども、問題ということはないということでもございました。今後、今回の視察でいろいろ得たものを、府中版のコミュニティスクールを考えていく上でいろいろ参考にさせて

もらいたいなと思いました。

それから2月29日、水曜日に、平成23年度の教育委員会表彰式、私も出席させていただきました。表彰状を読み上げながらお渡しをしたわけですが、その表彰状の内容を聞いておきますと、とても聞いているこちらの方も明るい気持ちになれる、そんな、大変、子どもたちの活躍ぶりがいろいろと伝わってまいりました。学校の課外活動として、また学校外での個人の活動として、子どもたちは本当にいろいろ頑張っているなということがよくわかりました。表彰を受けた子どもたちは、さらにもっと頑張ろうという気持ちになられたのではないかなと、そんな表彰式だったと思います。

それから1件、学校教育協力者の方への、市民の方への感謝状の贈呈がございました。このような形、本当に府中市内では市民の方々が子どもたちのためにということで、いろいろと協力をしていただいているわけですが、このような形で感謝を表明するということは、とてもよいことだなと思いました。今後もまたぜひ続けていきたい内容だと思いました。

それから3月14日、昨日ですが、私も熊野神社古墳の石室の復元展示室を見学に参りました。奥行きが8.7メートルの石室という、それを復元したものということで、三つの部屋があるということで、ヘルメットをかぶって中を見学させていただきましたけれども、やはり写真で見るというよりも、実際にそういう場に立ってみる、実際にそういう状況の中に身を置いてみるということで、目から感じるものだけではなくして、体全体で感じられるものがわかるのではないかなと思いました。そういう状況の中で、やはり想像力がかき立てられて、歴史的な、歴史感覚というのでしょうか、そういったもの、感性も尖らされていくということになっていくのではないかなと思いました。また一つ府中に貴重な歴史学習の施設ができたなと思いつつ見学をさせていただきました。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、久芳より報告いたします。

各委員がご報告いただきましたが、2月20日から21日、教育行政視察で京都へ私も参りました。重複することが多いのですが、久世中学校では、コミュニティスクールと小・中一貫、これがどうリンクするのかというのが、最初は私、ちょっと行くまではわかりませんでした。今、齋藤委員の報告にもありましたように、学校運営協議会、これは学校の応援団だと。批判的な目というよりも、学校をどうしたらよくなるだろうか、地域が応援しようという応援団であって、その下に学校支援推進委員会というものがある、図書であるとか、学習であるとか、環境であるとか、安全であるとか、そういう面について地域の皆さんが学校を支えていると。その中で、これは久世中学校と、あと二つの小学校が同じ地域なのですが、その3校が、運営基本方針が同じであるということとか、3校合同のPTAが久世PTAカレンダーというものをつくって、その中に3校のいろいろな行事が入っている。だから地域の方はそれを見ながら、今日はここへ行ってみようかしら、時間があるからというような形で、小学校の保護者の方も中学校の保護者の方も、校種を超えて参加できるということでした。

久世中学校の小・中一貫教育というのは、先ほどご報告があったように、問題行動と学力の低さというのが大きな課題で、それを克服するためのものだった。中学校の方がプロポーズしてなったということなのですね。今やられている小・小連携、小学校同士の連携がなぜ始まったかという、中学校に入ってきたときに派閥があったというのですね、二つの小学校で。そ

れでけんかが起こったりとか、険悪な雰囲気になったりとかということがあったので、小学校のうちから顔見知りになるようにということで始まったようです。現在やられているのは合同の宿泊学習、4年生と5年生で、同じところに行くというだけでなく、事前学習も一緒だそうです。そしてまた、修学旅行は6年生ですね。それは同じ時期に同じ方向に行くという、そういう子ども同士のつながりを意識してつくっているというのが一つと、もう一つは小・中連携で、ピアサポートという言葉を使っていたらっしゃいましたが、先ほど北島委員の報告の中にありましたように、中学校1年生が保育園や幼稚園の年長さん、中学校2年生は小学校1年生とかかわるようなかわりとか、それから小学校6年生が部活体験に中学校に行くとかという、そういうことをしていたりすると、具体的には、不登校の生徒が減少したそうです。一つには、小さい子とかかわっていると、お兄さん、お姉さんはありがとうと言ってもらえる、その中学生が自己有用感を持っていくという、そのような報告がございました。

あと職員間では、小・中の教員交流で、春休みの合同研修、それから合同授業研究会というのがあって、授業を見ていろいろ話し合いをするとか、中学校の先生が小学校で体験するとかという、そういう具体的なお話がございました。

先ほどの委員の報告の中で、すべて右から左に府中でやれるということではないと思いますが、この考え方というか、その授業の意図するところなどを酌んで、府中ではどう入れていけるかなということは考えることができました。

「京都まなびの街生き方探究館」、キャリア教育ですが、本当に市内、京都市の企業の協力がものすごいですね。これは予算だけでなく、ちょうど行ったときにいろいろな企業のボランティアの方がいらしたのですが、リタイアの方がいらしたりとか、あるときには新人の方がそのブースに張りついて説明をすると、そういうお話がございました。私も、崎山委員と同様に2階の「ファイナンスパーク」というのがすごくおもしろかったですね。これは人の暮らしと家計のやりくりを一人ひとりが実際に、架空ですが、学べる。先ほどもあったように、一人ひとりが行くと、あなたは何歳の会社員で、年収が幾ら幾らですよというような設定をもらうわけですね。その設定の中で、車を持つか持たないかとか、家をいつごろどういうものを買うとか、子どもの小遣いは幾らとかというような、実際のことを自分で計画しながらやっていくという、架空ではあるのですが、実体経済を経験できる。このパンフレットにあったのですが、この「ファイナンスパーク」を終わってお家に帰って、“お母さん、うちは幾らぐらいなの”というようなことを聞いたり、“やりくり大変だね”ということをお母さんに生徒が言うようになっているということもございました。これは非常におもしろいものだなと思いました。

そして、2月29日の府中教育委員会表彰でございますが、児童・生徒はもちろんでございますけれども、今年1名、市民の方が、学校教育に協力していただいたということで、表彰というよりも感謝の気持ちで賞状をお渡しいたしました。40年以上にわたって協力していただいたという、本当にもう長い期間でございます。今後は、40年と言わず、10年以上、いろいろな形で各学校に協力してくださった方々に、積極的に感謝の意を表したいという印象として持ちました。

そして3月1日です。郷土の森の梅まつり。私は2月1日に行ってまったく咲いていなかったものですから、1カ月おいて行って見ました。そうしたら、やはりまだまだ花が固いですね。

やはり紅梅が数本、花をつけていて、大部分はまだでございました。でも、行ってみて、職員の皆さん、工夫してくださっているなど思うのは、入って左側に掲示板がございますが、その大きな掲示板のところに、村野四郎さんの梅の詩が2編、子ども用と大人用の詩が掲示されておりました。これ、本当にすばらしいので、もうちょっと大きく、皆さんが通り過ぎないような形で、目を向けてくださるようなものになったらいいなと思いました。

それともう一つは、雛人形の段飾り、これはこの時期になるといつもあるのですが、薬局と郵便局にございまして、郵便局の段飾り、何かちょっと多いかなと。普通は7段飾りなのですが、8段あったのです。8段のちょうど真ん中ぐらいに、小野小町とか菅原道真の個人の人形が3体ありました。市民の方が寄附してくださったのだと思いますけれども、お顔も美しくて気品のある、とても立派なものでございました。ちょうど雪の翌日であったので、来館の方はそんなに多くなかったのですけれども、来ていらっしゃる方、みんなのぞいて見ていらっしゃる方がいました。なかなか家の事情で大きな雛壇を飾ることができないので、こういうところで見られるのはとてもうれしいことではございました。

それと、先ほど雪の翌日と申しあげましたけれども、メインストリートは本当に雪がきれいに掃かれておりました。郷土の森の皆さんのご努力に本当に感謝いたします。

以上でございます。

それでは、これにて平成24年第3回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。

ありがとうございました。



午後2時48分閉会